

メキシコ政治情勢（2025年9月）

〔概要〕

【内政】

- 1日、シェインバウム大統領は、国立宮殿において、第一回教書提出に先立つ政策演説を行った。
- 1日、連邦議会の新会期が開始した。
- 1日付エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率に係る世論調査結果を発表。シェインバウム大統領の支持率は74%。
- 7日、ガルシア・ハルフシュ治安・市民保護大臣、モラレス海軍大臣及びゲルツ連邦検察庁長官は、記者会見において、燃料の不正取引に関わった海軍関係者を含む14名を逮捕したと発表した。
- 9日、フィゲロア国家治安システム事務局長は、シェインバウム政権発足以降、殺人件数が32%減少したと発表した。
- 12日、ガルシア・ハルフシュ治安・市民保護大臣は、恐喝、人身売買、麻薬取引等を行う犯罪組織「ラ・バレドーラ」に関与していたとしてパラグアイでベルムデス・元タバスコ州治安長官が逮捕された旨発表。
- 15日、独立記念日前夜、シェインバウム大統領は、国立宮殿で「独立の叫び (El Grito)」を実施。
- 29日付エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率に係る世論調査結果を発表。シェインバウム大統領の支持率は73%。

【墨米外交】

- 3日、ルビオ米 국무大臣はメキシコを訪問し、シェインバウム大統領と会談した。
- 27日、墨外務省は、治安閣僚会議の代表者がテキサス州マカレンで米国政府関係者と会合し、メキシコ・米国安全保障実施グループの初会合を開催したと発表した。

【その他外交】

- 18日、カーニー・カナダ首相はメキシコを訪問し、シェインバウム大統領と会談した。
- 21～26日、デ・ラ・フエンテ外相は国連総会に出席した。

[本文]

【内政】

1 シェインバウム大統領の第一回教書演説

9月1日、シェインバウム大統領は、国立宮殿において、第一回教書提出に先立つ政策演説を行い、主に現政権発足後11か月間の社会福祉事業、経済、治安等の成果について述べた。外交面では、USMCAの枠組みが維持され、メキシコは米国の課す関税について、他国よりも良い条件を達成することができたと強調した。

2 連邦議会の新会期開会

9月1日、連邦議会の新会期が開始。これに先立ち、8月29日に連邦上院議会では執行部が発足し、連邦上院議長にラウラ・イツェル・カステージョ議員が就任した。カステージョ議長はエベルト・カステージョの娘。エベルト・カステージョは1970～80年代に左派のリーダーとして名を挙げ、1988年大統領選挙では社会党から立候補、1989年にはPRD創設メンバーの一人となった人物。また、9月2日に連邦下院議会でも執行部が発足。下院議長にはケニア・ロペス議員（PAN）が就任した。下院議長職は1年ごとに議席が多い順に各政党に輪番で割り当てることとなっており、今年は2番目に議席数の多いPAN所属議員が議長となる。

3 大統領支持率等に係る世論調査結果

9月1日付エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率に係る世論調査結果を発表。シェインバウム大統領の支持率は74%（前月比▲1ポイント）。

（1）シェインバウム大統領の取組を支持するか。

- ・支持する：74%（前回（7月、以下同じ）75%）
- ・支持しない：26%（前回24%）
- ・分からない：0%（前回1%）

（2）各分野におけるシェインバウム政権の取組を如何に評価するか。

ア 経済

- ・とても良い、又は良い：58%（前回（7月、以下同じ）65%）
- ・とても悪い、又は悪い：38%（前回31%）

イ 汚職

- ・とても良い、又は良い：21%（前回25%）
- ・とても悪い、又は悪い：73%（前回66%）

ウ 治安

- ・とても良い、又は良い：41%（前回47%）
- ・とても悪い、又は悪い：54%（前回46%）

エ 組織犯罪

- ・とても良い、又は良い：１９％（前回２１％）
- ・とても悪い、又は悪い：７５％（前回７３％）

オ 社会保障

- ・とても良い、又は良い：７７％（前回７５％）
- ・とても悪い、又は悪い：２０％（前回１７％）

（３）以下の大統領に期待される資質についてシェインバウム大統領を好評価するか。

- ・誠実さ：６２％（前回（７月、以下同じ）７３％）
- ・リーダーシップ：６０％（前回６８％）
- ・結果を出す能力：５５％（前回６１％）

（４）９月１日に刷新される司法府に関する貴見如何。

- ・とても良い、又は良い：５５％
- ・とても悪い、又は悪い：３５％
- ・良くも悪くもない：６％
- ・無回答：４％

（５）９月１日に刷新される司法府に関する貴見如何（政党支持者別）。

ア 国家再生運動（MORENA）支持者

- ・とても良い、又は良い：６９％
- ・とても悪い、又は悪い：２４％

イ 無党派

- ・とても良い、又は良い：４４％
- ・とても悪い、又は悪い：４３％

ウ 野党支持者

- ・とても良い、又は良い：３７％
- ・とても悪い、又は悪い：５６％

（６）以下を信頼しているか。

ア 行政府、大統領、州知事

- ・とても、又はある程度信頼している：５５％
- ・あまり、又は全く信頼していない：４４％

イ 司法府、高等及び地方裁判所判事

- ・とても、又はある程度信頼している：４３％
- ・あまり、又は全く信頼していない：５７％

ウ 最高裁判所

- ・とても、又はある程度信頼している：４１％
- ・あまり、又は全く信頼していない：５８％

エ 立法府、上院、下院

- ・とても、又はある程度信頼している：５８％

・あまり、又は全く信頼していない　： 4 1 %

4 燃料盗難に関与した疑いで海軍関係者等が逮捕

(1) 9月7日、ガルシア・ハルフシュ治安・市民保護大臣、モラレス海軍大臣及びゲルツ連邦検察庁長官は、記者会見において、燃料の不正取引に関わった海軍関係者を含む14名を逮捕したと発表した。

(2) ガルシア・ハルフシュ大臣の発表内容概要は以下のとおり。

ア 3月19日、タマウリパス州内の2か所に停泊していた船舶の捜査が実施され、190個以上のコンテナ、トラクター、トレーラー、1,000万リットルのディーゼル燃料等が押収された。本押収量は過去最大である。

イ 本捜査により、偽造書類を使用した流通網と、運送会社、通関業者及び公務員間で行われた違法取引に関与している犯罪組織が特定された。

ウ 逮捕令状は、実業家3名、海軍関係者5名、退役海軍職員1名、税関職員5名に対して執行された。

エ 連邦検察庁は、犯罪に関与した個人及び法人20名（団体）に対する逮捕令状及び資産凍結令状を取得した。

オ 海軍省、モラレス海軍大臣及びオヘダ前海軍大臣の功績を称える（当館注：連邦検察庁によればオヘダ前大臣が本件を通報したとされる）。連邦政府は国家の発展や利益を損なう違法行為を決して容認しない。

5 殺人件数の減少

9月9日、フィゲロア国家治安システム事務局長は、シェインバウム政権発足以降、殺人件数が32%減少したと発表した。一方、恐喝件数は依然として増加傾向にあり、2025年1～8月に2019年の同時期と比較して21.3%増加。

6 犯罪組織「ラ・バレドーラ」に関与した人物の逮捕

9月12日、ガルシア・ハルフシュ治安・市民保護大臣は、恐喝、人身売買、麻薬取引等を行う犯罪組織「ラ・バレドーラ」に関与していたとして、パラグアイでベルムデス・元タバスコ州治安長官が逮捕された旨発表。その後、ベルムデス元長官は、メキシコに移送された。

7 シェインバウム大統領の独立記念式典等への出席

9月15日、独立記念日前夜、シェインバウム大統領は国立宮殿で「独立の叫び（El Grito）」を実施した。また、翌16日、憲法広場（ソカロ）における軍事パレードでの大統領スピーチにおいては、「いかなる外国勢力も我々に代わって決定を下すことはできない」「憲法で定められているとおり、主権は国民にあり、我々の力で未来を作ることであ

る」と発言した。なお、同パレードにおいて、モラレス海軍大臣は演説を行い、7日に明らかになった燃料盗難への海軍関係者の関与について謝罪し、「腐敗と不処罰との闘いは変革の中核をなすもの」と述べた。

8 大統領支持率等に係る世論調査結果

29日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表した。シェインバウム大統領の支持率は、73%。

(1) シェインバウム大統領の取組を支持するか。

- ・支持する : 73% (前回 (8月、以下同じ) 74%)
- ・支持しない : 27% (前回 26%)
- ・分からない : 0% (前回 0%)

(2) 直近12か月 (シェインバウム政権発足後1年間) において、以下についてどのような変化が見られたか。

ア 学校及び教育制度

- ・改善した : 48%
- ・悪化した : 31%
- ・変わらない : 19%
- ・分からない : 2%

イ 貧困及び不平等

- ・改善した : 48%
- ・悪化した : 25%
- ・変わらない : 26%
- ・分からない : 1%

ウ 医療及び公衆衛生

- ・改善した : 44%
- ・悪化した : 36%
- ・変わらない : 20%
- ・分からない : 0%

エ 燃料窃盗 (huachicol) 撲滅

- ・改善した : 39%
- ・悪化した : 26%
- ・変わらない : 32%
- ・分からない : 3%

オ 石油公社 (PEMEX)

- ・改善した : 36%
- ・悪化した : 29%

・変わらない： 32 %

・分からない： 3 %

(3) 以下の増税が実施された場合、賛成か反対か。

ア 暴力的なコンテンツを含むテレビゲームへの増税

・賛成 : 54 %

・反対 : 43 %

・分からない： 3 %

イ たばこ

・賛成 : 43 %

・反対 : 54 %

・分からない： 3 %

ウ 砂糖入りの清涼飲料水

・賛成 : 39 %

・反対 : 59 %

・分からない： 2 %

エ メキシコによる中国への関税賦課に賛成か反対か。

・賛成 : 51 %

・反対 : 45 %

・分からない： 4 %

(4) 各分野におけるシェインバウム政権の取組を如何に評価するか。

ア 経済

・とても良い、又は良い： 53 % (前回 (8月、以下同じ) 53 %)

・とても悪い、又は悪い： 43 % (前回 38 %)

イ 汚職

・とても良い、又は良い： 19 % (前回 21 %)

・とても悪い、又は悪い： 75 % (前回 73 %)

ウ 治安

・とても良い、又は良い： 42 % (前回 41 %)

・とても悪い、又は悪い： 53 % (前回 54 %)

エ 組織犯罪

・とても良い、又は良い： 20 % (前回 19 %)

・とても悪い、又は悪い： 74 % (前回 75 %)

オ 社会保障

・とても良い、又は良い： 75 % (前回 77 %)

・とても悪い、又は悪い： 20 % (前回 20 %)

(6) 国内の主要な問題は何と考えるか。

- ア 治安悪化： 52%（前回（8月、以下同じ）55%）
イ 経済及び失業：19%（前回18%）
ウ 汚職： 21%（前回18%）

【墨米外交】

1 ルビオ米国務大臣のメキシコ訪問

（１）９月３日、シェインバウム大統領は、メキシコを訪問したルビオ米国務長官と会談した。会談後、シェインバウム大統領はXのアカウントにおいて、国境警備および法執行に関し、相互主義、主権と領土保全の尊重、共有され差異化された責任及び相互信頼の４つの柱に基づく協力プログラムに合意した旨投稿した。また、会談後に発出された共同声明には、墨米両政府は、相互主義、主権と領土保全の尊重、共有され差異化された責任及び相互信頼の原則に基づく安全保障分野での協力を再確認し、具体的かつ即時の行動を通じて、墨米国境沿いの安全を強化し、フェンタニルやその他の違法薬物の密輸を阻止し、武器の密輸を根絶するため協力すると記された。

（２）共同記者会見では、今後定期的に会合を開き、協力状況をフォローアップするためのハイレベル調整メカニズムが設置された旨が発表された。また、ルビオ国務長官は、メキシコ政府の犯罪対策の取組を賞賛し、米国にもやるべきことがあることを認めつつ、今後協力を深化していく旨述べた。

（３）翌４日の早朝記者会見においてシェインバウム大統領は、米国がメキシコに課している関税の根拠が、米国の発表や法令によればフェンタニルの密輸と関連付けられているところ、フェンタニルの問題が改善された場合には関税も引き下げられるべきであるとの立場を示した。

2 メキシコ・米国安全保障実施グループの初会合の開催

（１）９月２７日、墨外務省は、治安閣僚会議の代表者がテキサス州マカレンで米国政府関係者と会合し、メキシコ・米国安全保障実施グループの初会合を開催したと発表した。本グループは、ルビオ米国務長官のメキシコ訪問時に両政府が合意した国境安全保障・法執行協力プログラムに基づく二国間協力の進捗状況をフォローすることが目的。

（２）米国政府は、メキシコへの武器密輸を阻止するために米治安機関が実施した措置の進捗状況を報告した。「痕跡を残さず（Sin dejar rastro）」作戦の枠組みの中で、米国当局はトランプ政権発足以来、１２５件以上の武器密輸関連捜査を実施、銃器を押収し、右犯罪に関与したとされる犯罪組織の構成員を特定したと報告した。また、「ファイアウォール作戦：銃器密輸対策連合イニシアチブ」の開始が発表された。同作戦は、国境を越えた違法な武器の流通を阻止することを目的とし、メキシコへの武器の流出を阻止するための国境警備活動の強化、両国での捜査を強化するためのeTraceツールの利用拡大、メキ

シコ国内全ての州での弾道識別技術の導入、情報交換の強化、捜査と起訴の増加を目指すもの。

【その他外交】

1 カーニー加首相のメキシコ訪問

(1) 9月18日、カーニー・カナダ首相が訪墨しシェインバウム大統領と会談。両首脳は、今後のアクションプランを策定した旨発表。カーニー首相は、アクションプランは繁栄、安全、包摂、持続可能性という4つの柱に基づくものであると述べ、北米経済圏の競争力維持を念頭に、カナダ・メキシコの二国間のみならず米国とも協力していく旨述べた。また、治安については、組織犯罪や人身売買、密入国者や密輸等の問題に対処すべく、新たな二国間対話メカニズムを確立した旨述べた。

(2) シェインバウム大統領は、メキシコとカナダがUSMCA加盟国として成果をあげるべく、カナダとの間でUSMCAの強化に向け協働していく旨合意した旨述べた。

2 デ・ラ・フエンテ外相の国連総会出席

(1) 9月25日、デ・ラ・フエンテ外相は、国連総会一般討論演説を行った。演説では、冒頭に初の女性大統領の就任に触れ、「メキシコのヒューマニズム」の継続と「第四次変革」で達成した貧困脱却、不平等の是正などを成果として述べた。また、国連創設80年の節目において、国際社会がより良い方向性を見いだすべく、①福祉経済の必要性、②暴力の構造的な原因への対処、核兵器、銃器密輸、軍備競争に歯止めをかける責任、紛争を解決するための多国間主義、③国際法及び人権の擁護、パレスチナ、ウクライナ等における紛争の外交的手段による解決の必要性に言及した。

(2) 同外相は、ボリビア大統領、スイス、インド、ドイツ、MIKTAの外相と個別に会談した。なお、26日には、岩屋外相とデ・ラ・フエンテ外相との懇談が実施された。両大臣は、日墨EPA及びCPTPPの下、両国の経済関係を一層強化することが重要であるとの点で一致した。